

# 「北極科学賞」を受賞

屋代高付属中の是永さん

屋代高校付属中学校1年生の是永

京子さん(12)は、国立極地研究所

―東京都―が全国の中高生から極地

で実施したい研究を募った「第9回

中高生南極北極科学コンテスト」で、

最高の「北極科学賞」を受けた。同

研究所によると、県内の中学生が最

高賞を受けるのは初めて。北極と日

本での流星の見え方の違いなどにつ

いて考察し、提案した。

同コンテストは、人 けた提案は、極地に赴 為的な汚染が少ないた く研究グループが現地

めに観測場所として適 で実行し、結果を受賞

し、科学の最前線の場 者に知らせる。

である極地で行いたい 今回は全国27校から

研究や実験、調査を中 412件の応募があ

高生から募ること教科 り、「南極科学賞」と「北

学への興味を深めても 極科学賞」の二つの最

らしい目的。最高賞を受 高賞をはじめ、優秀賞

などが選ばれた。

天文班に所属する是

## 流星の見え方提案

研究グループ 現地で実際に観測

永さんは、夏休みの合

宿でペルセウス座流星

群を観測した際、「緯 書をまとめた。 度が違つと見え方はど う変わるのだろうか」と

疑問を抱き、コンテス

トに応募した。 極地研究所は「提案 者は定期的に天文観察

を行っており、研究者

と生徒の連携が期待で と笑顔を見せた。 べるのが大変だったけ ど、満足できる提案が

23日には極地研究所



「北極科学賞」を受けた提案書 を手にする是永さん

参考に、観測方法や予 将来、是永さんの提 想される結果などを考 案を基にした観測が

参考。北極と日本での 北極で行われるとい

流星の見え方の違い 流。 是永さんは「知識が 足りなくていろいろ調

で「南極北極ジュニア

フォーラム2012」

が開かれ、是永さん が提案内容を発表し